

ノウハウの届出書

年 月 日

学術研究・産学官連携統括本部
知的財産統括室長 殿

<届出者> (個人番号は職員番号もしくは学生番号)

大学名		所属部局	
職名	氏名	個人番号	
TEL	()	E-mail	

東海国立大学機構発明等取扱規程に基づき、下記のとおり届け出ます。

記

1. ノウハウの名称

2. ノウハウの特定 (保存形態及び内容)

(1) 保存形態: 文書 図面・写真 電子媒体 その他 ()

(2) 内容: 別添のとおり。

3. ノウハウの提供目的

4. ノウハウの提供先

5. 届出者以外のノウハウの案出者 (届出者以外の案出者がいるときは、機構以外の機関に所属する案出者も含めて、該当者全員を記載して下さい。)の所属、職名、氏名、個人番号 (職員・学生番号)、E-mail アドレス

(複数名いる場合は、今後、知財・技術移転部門のヒアリング、問い合わせ先等の窓口となる代表者の氏名から順に記入してください。)

所属	職名	代表者氏名	個人番号	
学内 E-mail アドレス			貢献度	%
所属	職名	氏名	個人番号	
学内 E-mail アドレス			貢献度	%
所属	職名	氏名	個人番号	
学内 E-mail アドレス			貢献度	%
所属	職名	氏名	個人番号	
学内 E-mail アドレス			貢献度	%

6. 本機構以外の案出者の機関名・氏名

機関名	氏名
_____	_____
機関名	氏名
_____	_____
機関名	氏名
_____	_____

7. 権利の持分割合（権利者が複数の場合はすべての権利者の持分割合（合計 100%・整数）を記入してください。）

記入例：東海国立大学機構 100%

8. 関連する機構の知的財産の有無：・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ □有 □無
〔 □特許 □プログラム・データベース □成果有体物 □その他（ ） 〕
（関連する機構の知的財産があるときは、ノウハウと併せてライセンスできるかを検討します。）

9. ノウハウと第三者の権利との抵触の有無：・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ □有 □無 □不明
（ノウハウを案出するに当たり、第三者の特許等の知的財産権を利用したかどうか。）

10. 第三者との契約の有無：・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ □有 □無 □不明
（前項で「有」を選択した場合は、第三者との間での契約書の有無）

11. ノウハウの提供先における管理能力及び保護能力の有無：
（例えば病原菌、爆発性化合物等を取り扱う能力の有無）・・・・・・・・・・・・ □有 □無 □不明

12. 国内法、国際条約及び機構の規程等との関係

(1) 安全保障輸出管理品目に該当する関連のノウハウか否か：・・ □該当 □否 □不明

(2) ノウハウの実施許諾が機構の規程等を遵守しているか否か：・ □遵守 □否 □不明

本届出書は、パスワードを設定の上、以下の知財・技術移転担当部門代表アドレスまでご提出願います。

岐阜大学：g_chizai@gifu-u.ac.jp

名古屋大学：chizai@aip.nagoya-u.ac.jp